

平成27年度 事業報告

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

事業の状況

社会の繁栄の基礎は、科学技術の進歩と産業経済の発展にあるとの考えに基づき、わが国の優れた独創的な研究開発を推進し、科学技術の発展と国民生活の向上に貢献したいという当財団設立提唱者市村氏の想いを実現するため、平成27年度も関係各方面の方々のご支援とご協力により以下の事業活動を積極的に展開し所期の成果を収めました。

また、平成23年度から始めました東日本大震災復興支援事業にも引き続き積極的に取り組みました。

1. 科学技術の研究開発助成

1) 新技術開発助成

科学技術に関する独創的な技術を実用化するために技術開発の努力をしている中小企業へ助成する事業です。平成27年度は24件（総額306,310千円）の助成を決定し、平成27年8月4日及び平成28年2月16日に、財団本部において助成金を贈呈しました。

2) 復興支援新技術開発助成

平成23年3月に発生した東日本大震災で被災したものづくりに携わる中小企業の速やかな復興を支援するため、平成23年度から本助成を行いました。平成27年度は2件、金額で21,150千円の助成を決定し、平成27年11月13日に財団本部にて贈呈式を行いました。

3) 復興支援特定研究助成

上記被災中小企業向け新技術開発助成と共に、震災復興に向けての緊急かつ重要課題解決のため復興支援特定研究助成を行いました。平成27年度は6件（総額14,458千円）の助成を決定し、平成28年2月19日に大手町の経団連会館において助成金を贈呈しました。

2. 科学技術の顕彰と国際技術交流

1) 新技術顕彰(市村産業賞、学術賞の贈呈)

わが国の科学技術の進歩、産業の発展、その他国民生活の向上に関し、産業分野あるいは学術分野の進展に多大の貢献をされた方を顕彰する事業です。

平成26年度の第47回市村賞は、本賞、功績賞及び貢献賞合わせて15件（総

額 70,000 千円) を決定し、平成 27 年 4 月 23 日にホテルオークラ東京において贈呈式を行いました。

また、平成 27 年度の第 48 回市村賞は、審査委員会の推薦に基づき、産業賞では、本賞 1 件、功績賞 2 件、貢献賞 5 件、学術賞では功績賞 2 件、貢献賞 5 件の合計 15 件 (総額 70,000 千円) を決定しました。

2) 国際技術交流：国際研究集会参加助成及び国際研究集会開催助成

国際研究集会参加助成は市村学術賞受賞者が国際会議、国際研究集会に出席する場合の渡航旅費を助成する事業で、平成 27 年度は 11 件 (総額 8,116 千円) を助成しました。

また、市村学術賞受賞者がわが国において開催する国際会議等を支援するため平成 21 年度からはじめました国際研究集会開催助成は、平成 27 年度は 5 件 (総額 8,890 千円) を助成しました。

3. 少年少女創造性育成

1) 市村アイデア賞

次代を担う小・中学生のアイデアの芽生えを奨励するため、独創的なアイデアを募集し、優れたものを表彰、奨学金を交付し、科学への追求、創造への意欲を高めるよう育成する事業です。

第 46 回市村アイデア賞の応募総数は 28,668 件でした。審査委員会の推薦に基づき、その中から個人賞として文部科学大臣賞 1 件、市村アイデア優秀賞 1 件、朝日新聞社賞 1 件、朝日小学生新聞賞 1 件、朝日中高生新聞賞 1 件、科学技術館館長賞 1 件、市村アイデア記念賞 6 件、市村アイデア奨励賞 25 件、佳作 49 件、努力賞 77 件を、団体賞として最優秀団体賞 1 件、優秀団体賞 2 件、奨励団体賞 3 件、努力団体賞 9 件を決定しました。

平成 27 年 11 月 20 日に北の丸の「科学技術館」に於いて表彰式を実施し、賞状、トロフィー、奨学金を贈呈しました。また、佳作に対し楯、努力賞に対し賞状を贈呈し表彰しました。なお、個人賞の奨学金と団体賞の賞金の合計は 3,730 千円でした。

2) 復興支援理科教育助成

昨年に引き続き東日本大震災で被害を受けた小・中学校の理科教育が停滞しないよう復興支援理科教育助成 2015 を行いました。審査委員会の推薦に基づき理事会にて小・中学校 83 校 (総額 19,690 千円) の助成を決定し、平成 27 年 8 月 21 日に助成しました。

3) キッズ・フロンティア・ワークショップ

小・中学生を対象に科学技術に関する講話や実験・製作などをおして、科学の原理を楽しみながら理解し、科学技術への興味、意欲を高めることをねらいに(公財)日本科学技術振興財団との共催、文部科学省、朝日新聞社、朝日学生新聞社の後援、(株)リコーの特別協賛で「かがく・夢・あそび」をスローガンにワークショップを実施しました。

平成27年度は、半日コースを平成27年11月20日に市村アイデア賞の表彰式後に北の丸の「科学技術館」で実施し、受賞者の小・中学生を含む保護者・引率の先生など合わせて約150名が参加しました。冬休み1日コースは平成27年12月12日、13日に「長崎大学文教キャンパス」にて長崎市教育委員会、(株)リコー、リコージャパン(株)長崎支社の特別協賛を得て、小・中学生60名、保護者24名が参加し実施しました。また春休み1日コースは平成28年3月12日、13日に北の丸の「科学技術館」で行い、小・中学生57名、保護者22名が参加しました。

4. 植物研究助成

第24回の植物研究助成は、平成27年5月15日に植物研究園において研究者22名に総額31,870千円を贈呈しました。

また、第25回植物研究助成は、審査委員会の推薦に基づき、23件(総額33,240千円)の助成を決定しました。

5. 講演会の開催

市村賞受賞者の業績についてより多くの方々に知っていただくため、産業賞受賞記念講演会として平成27年7月17日に市村産業賞・貢献賞を受賞された三菱電機(株)田中、堂前、前川氏による「自律型セル生産ロボット」の講演をRTC(リコーテクノロジーセンター)にて、また、先端技術講演会として平成27年11月27日に市村学術賞・貢献賞受賞の大阪大学大学院菊地和也教授による「分子プローブデザインによるライブイメージング」の講演を(株)リコーの中央研究所にて開催し、両講演会ともに多数の参加者を得て好評でした。